

ヤマザクラ

2016 年(平成 28 年)1月 20 日(水)発行

新年にあたって

理事長 木田章一



新年明けましておめでとうございます。

昨年、「ろうきん森の学校」2 期目の継続支援決定を受けました。

1 期目は「森を育む」「人を育む」「森で遊ぶ」を活動の柱として事業を展開してまいりました。

2 期目は、1 期目の成果を踏まえて次のことを目的として取り組むことになりました。

- ① 厳しい環境の中で働く勤労者等に精神的な安らぎを与える「緑」
- ② 身体を動かす喜びと「健康の維持」
- ③ 「地球環境保全」への共感と参画

の 3 点をコンセプトに、幅広い人々が参加できる「里山再生」活動を、「環境教育」に主眼を置いて行い、活動を地域に定着させることを目指す。

当会も、この目的達成のため会員の皆さんとともに努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

さて、新年にあたり昨年の主な活動を振り返ってみたいと思います。

2/12 ろうきん森の学校 10 周年記念シンポジウム(東京)に参加し、これまで 10 年間の報告と 11 年目以降の取り組みについて発表した。

3/7 ろうきん森の学校(福島地区)10 周年の報告会をいわき労働福祉会館にて開催。

3/14 ふくしま被災地まち物語東京 7 DAYS(東京労金会館)に参加した。

6/12~14 「森林と市民を結ぶ全国の集い 2015in 福島」～東北復興に果たす森林の役割と市民活動～の事務局とエクスカージョンいわき地区「市民参加による里山再生と森林環境教育」の運営を担当した。

9 月 敷地内に NPO 法人いわき環境研究室との協働による、太陽光と風力、水力を利用した自然エネルギー学習施設を整備し、その一部が完成した。

12/5 育樹祭開催、今年から昨年までの 21 世紀の森山火事跡地から湯ノ岳栗園跡地に変更して実施することとした。

12/5.~6 「森林と市民を結ぶ全国の集い」いわき地区参加者研修会開催。

昨年、私が多くの活動に参加して思ったことは、会の活動がこれほど活発であることです。プログラム班の学校支援では 9 月から 11 月には、ほぼ毎日のように支援がありました。森林整備班の海岸林再生整備事業では、小中高校生をはじめ企業からも多くのボランティアの参加があり、その都度、地ごしらえや植樹指導が伴いました。この外にも多くの活動がありました。

会員の高齢化が進んでおりますので、若い会員の増加に努めていきたいと思っています。

そのためには、できるだけ多くの市民の皆さんが参加できるような仕組みづくりを考えていかなければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

今年も「安全第一に楽しく」をモットーに活動していただくようお願いいたします。

森林整備班の活動

桑原敏和

森林整備班の活動一覧表 (H27.10.21~H28.1.6)

月/日	曜	実施事項	参加人数
10/21	水	湯ノ岳林道土壌調査補助	3
10/28	水	観察1コース上側笹刈払	3
11/4	水	管理道路上除草	4
11/11	水	管理道路上部の笹刈	4
11/18]	水	杉苗ハウス組立、杉苗のポット移植	9
11/25	水	栗園跡地植樹祭準備、除草・支柱切出	3
12/2	水	植樹祭準備、石窯屋根支線取り替え	4
12/9	水	栗園跡地コースの枯れ松伐倒	4
12/16	水	バンガローエリアの枯木伐倒	4
12/19	土	東北電力海岸林再生地拵支援	8
12/23	水	森林整備用機材の整備・整理	5
1/6	水	観察コースの枯れ伐倒・丸太橋更新	5
活動 12日		森林整備班活動延人数 人	56

今回は定例森林整備活動日である 11 月第 3 (土) 11/21 クリナップ労組自然体験活動と 12 月第 1 (土) 12/5 栗園跡地育樹祭が本会主催で開催されましたので森林整備班ではその対応にあたりました。

また、観察コース等の安全対策として枯枝の落下による事故防止のため枯れ損木の伐倒と観察歩道の腐食した丸太橋の更新も行いました。

今後も安全な観察コースを維持するため危険個所の除去に努めていきたいと思っておりますので多くの方々のご協力をお願いします。

定例森林整備班の活動は、毎週水曜日と第 1.3 土曜日で 9 時～12 時です。活動は上記一覧表の通り多種多様で活動後の達成感は格別です。また健康管理には最適な活動です。是非多くの方々のご参加をお待ちしております。

写真は森林整備班活動の一部



観察コース(栗園跡地)枯れ損木の伐倒作業



観察コースの草刈作業



観察コースの丸太橋に補修、強度は万全です

第13回うつくしま育樹祭	12.
研修会報告	11.
ひまわり信金さんのボランティア活動	10.
いわき金成公園岩出の郷秋の収穫祭	10.
自然観察班活動報告	8
ろうきん森の学校	7
プログラム勉強会グループ活動	5
農作業班活動報告	5
木工クラブ班の活動	4
栗園跡地育樹祭	3
森林整備班の活動	2
新年にあたって	1

目次 主な内容

P

海岸林の再生整備参加者数

(期間 2015.7.17～10/3) 松崎和敬

月日	整備内容	本会 トチ ギ	ボランテ ィア	計
10/11	植樹	8	126	134
20	枯損木伐採	2	20	22
21	〃	2	20	22
27	植樹	5	40	45
11/11	整備場所調査他	2	1	3
13	植樹	6	68	74
14	下刈り・地拵ええ、 植樹	2	19	21
21	〃 ・ 〃 ・ 〃	3	28	31
28	地拵ええ	8	70	78
〃	下刈り・地拵ええ、 植樹	2	18	20
29	〃 ・ 〃 ・ 〃	2	6	8
12/12	〃 ・ 〃 ・ 〃	2	12	14
17	地拵ええ、植樹	6	92	98
19	地拵え	8	70	78
	計	58	590	648

海岸林再生整備スナップの一部



10/11 連合東京・いわきによる
東北の子ども応援わんぱくプロジェクトの皆さん。



11/28 東北電力の方々の地拵え

栗園跡地育樹祭

若森秀樹

1. 開催日時 平成 27 年 12 月 5 日 (土)
9 : 00 ~ 12 : 00

2. 樹種 (カエデ各種 5 本、計 25 本)

イロハモミジ、オオモミジ、メグスリノキ、
チドリノキ、コハウチワカエデ。

栗園跡地を中心に、磐崎こども森クラブをはじめ、多くの団体・家族のみなさん総勢 80 名の方々の参加を得て育樹祭を開催しました。

当日は植樹箇所まで自然観察会を実施しながら移動しカエデの植樹と下刈り等育樹作業も実施した。

参加者は、天候にも恵まれ爽やかな晴天の下、初冬の日を楽しみました。

翌日 (12/6) には若手ボランティアの方々による整備の際にイロハモミジ 15 本の植樹も行いました



自然観察コース入口の紅葉トンネルでした



木田理事長と参加者による記念植樹



広い栗園跡地の植樹箇所です今後が楽しみです

木工クラフト班の活動 桑原敏和



牛の親子木工クラフト班の作品



マガジンラック作成中

木工クラフト班活動一覧表 (10月～12月)

I グループ (定例日の活動)

No	月 / 日	曜	木工クラフト 実施事項	参加 人数
1	10/6	火	男性：大工工具箱) 女性：ロールティッシュ箱	9
2	10/20	火	男性：マガジンラック 女性：ポリ袋取り出し箱	13
3	11/3	火	男性：マガジンラック 女性：ポリ袋取り出し箱	12
4	11/17	火	男性：マガジンラック 女性：ポリ袋取り出し箱	10
5	12/1	火	男性：マガジンラック 女性：リース	12
6	12/15	火	男性：門松 女性：門松	14
活動 6 日		参加延人数 人		

○定例木工クラフト活動

毎月第2と第4火曜日に工房で実施しておりますので興味のある方は是非お出で下さい。
年末となりますと門松作りが人気となります。



完成した「ポリ袋取り出し箱」を前にして

II グループ

開催日：毎月第3日曜日午後

ろうきん森の学校終了後希望者で活動します

No	月/日	木工クラフトの実施事項	参加人数
1	10/118	ペン立て	3
2	12/20	ミニ門松作り	26
活動 2 日		参加延人数 29 名	

12/20 門松作りには多数の方々の参加でした。これは午前で開催された「ろうきん森の学校」のソバ打ち体験の人気により予想以上の参加者でした。ミニでも幸せは大きい門松でした。



門松用竹を冷たい水で洗って綺麗にした



出来上がったミニ門松

農作業班の活動報告

太田 満

1. 畑への水の運搬を行う

10月に降雨が極めて少なかったため、8月に続き2度目の水運搬をしました。

湯ノ岳山荘の地下貯水槽からくみ上げた水、計3200Lをポリタンクに入れ笠石の畑まで軽トラで運搬、畑の貯水槽へ給水しました(10/12、10/24)。

2. 収穫作業など

9月に続き、10月と11月にさつま芋の収穫を行い、また里芋や落花生なども収穫しました。

また、自家採種した種から育成したソラマメの苗は3回に分けて植えました。

5月以降はイノシシの畑への侵入が無く、予定通りの収穫が出来ました。

里芋とさつま芋の一部を来年の種イモ用にするため、ビニールハウスの中に保存。

3. ブルーベリーの紅葉と剪定作業

農機具小屋前のブルーベリーが紅葉しています。このあと、12月21日に枝の剪定作業を行いました。

4. 籾殻の畑への搬入

昨年同様、農家から譲りうけた籾殻を畑に運搬しました。(軽トラ4台分)



軽トラによる籾殻運搬作業

5. その他

- 1) 農道や畑の周囲の草刈り、および農道の補修作業。
- 2) 4軒の地主さん宅に、収穫した野菜(さつま芋)を届けました。
- 3) ブルーベリー畑などの除草作業。

プログラム勉強会グループの活動

佐藤 烈

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお祈りします。

昨年の11月28,29日の2日間、横浜自然観察の森で開催された「いつでも、どこでも、身近な自然の案内人講座」を木田理事長とともに受講してきました。

詳細は省略しますが、1日目は「自然のメッセージを受け取る多様な視点に気づこう」2日目は「自然のメッセージをわかりやすく伝えてみよう」のサブタイトルで、素材を探し、テーマを決め、インタープリテーションを作り、実施するまでを学んできました。

これからのプログラム勉強会グループの活動の中で生かしていきたいと思っています。

1 小学校等における学習支援活動

(10/1~12/31)

月日	学校名	学年	学習名	参加	支援者
10/2	綴小	1~6	森林環境	78	12
10/19	平6小	3	総合学習	40	10
10/22	錦東小	3	総合学習	25	5
10/27	錦東小	1	生活科	33	6
10/29	江名小	3・4	森林環境	29	8
11/2	錦東小	1	生活科	33	6
11/4	錦東小	1	生活科	63	7
11/6	錦東小	1	生活科	51	5
11/11	江名小	1	生活科	22	6
11/12	小川小	1	生活科	26	8
11/18	江名小	2	生活科	16	6
11/24	小川小	1	生活科	25	6
11/25	江名小	1	生活科	39	3
11/26	小川小	1	生活科	26	8
12/2	江名小	2	生活科	41	5
12/3	平6小	3	総合学習	40	7
12/9	錦東小	3	総合学習	25	5
12/10	中央台北	4	総合学習	71	9
計	6校		18回	683	122

上表の通り、生活科・総合学習・森林環境学習を18回支援。

以下に10/2の綴小の森林環境学習支援と錦東小、江名小及び小川小の1年生の生活科支援について述べます。



錦東小学校学習風景

綴小は、1年生から6年生まで71名の児童が在籍しています。当校は年に1度全校児童が湯ノ岳山荘にきて森林環境学習を行っています。

全学年を対象とした支援なのでそのメニューには工夫が必要になります。

まず1～4年生は紙芝居、5,6年生はビデオを見てもらい、その後学年ごとに山荘周辺のコースで自然観察を行いました。

午後は1～3年生はカスタネットやペンダント作り、4,5年生はリールシロホンやペンダントやオブジェ作りそして6年生はコウゾの皮から紙すきし葉を作りました。

当日は大雨が予想されていましたが、雨は朝には上がり予定通りスケジュールが実施できほっとしました。

小学校の1年の生活科の教科書には秋を探そうという単元がありいろいろの落ち葉やどんぐりの絵が載っており、さらにどんぐりで作った独楽や松ぼっくりを使ったけん玉の絵も載っています。

この部分について学校から支援の要請があります。

そこで私たちは、学校の事情で一部行われないうものもありますが、標準的には、1日目にはあらかじめ各学校の近くで秋を探せる場所の下見をし、決めたコースで、当日は安全管理に心がけながら野外活動をサポートし、2日目は、そこで見つけたどんぐりや松ぼっくりなどを使ったおもちゃを作りそれで遊び、3日目は幼稚園児或いは保育園児に1年生がおもちゃの作り方と遊び方を教えるという支援を行っています。

今回はこれらの支援を錦東小江名小それに小川小の1年生に対して実施しました。



小川小学校で紅葉の観察野外学習

2 その他の活動 (10～12月)

(1) いわき明星大学の自然体験プログラム 研修会支援

実施月日 10/10,10/17,11/7,11/14

参加者 延 67名

支援者 延 41名

いわき明星大学科学技術部の3年生18名を対象にいわきの植生、水環境、地質・土壌それに自然体験の必要性や安全管理などの講義をするとともに学校林を歩き自然のしくみに気づき、感じ、それを人に伝える研修を実施しました。



学校林内での研修

(2) いわき明星大学の学校林の管理及び整備

10月：5,12

支援者延 4名

11月：2、10、16、25

支援者延 8名

12月：1、7、14、21

支援者延 8名

(3) 青少年育成市民会議小名浜支部主催の 親子ハイキング支援

場 所 湯ノ岳山荘

参加者 41名

支援者 10名

ろうきん森の学校

若森秀樹

(平成 27 年 11 月 15 日～平成 28 年 1 月 17 日)

I. 平成 27 年 11 月 15 日 (日) (雨)

1. 実施内容

①自然観察会。②野外料理体験。

(昨夜来の雨のため計画しておりました
森林療法体験は実施できませんでした)

2. 参加者 24 名

3. 実施結果

①自然観察会

雨で濡れた森は静かで、色づいたイロハモミジ等しっとりしてじっくり観察しますと色々な発見がありました。

今年は森の実りは豊かでコナラ・クヌギ(ドングリ)、ウメモドキ、ヤブムラサキ、マユミ、エゴノミ、ケヤキ、ホウノキなどの実を確認出来ました。



じっくり観察、新たな発見があります

野外活動は天候に大きく左右されますが、雨の中での自然観察は新しい発見が出来て楽しいです。

②野外料理体験

キノコ班栽培したマイタケ、ヒラタケ、ハタケシメジ、ナメコを料理今日の昼食とまりました。



ヒラタケ、ナメコ

II. 平成 27 年 12 月 20 日 (日) (晴)

1. 実施内容

① 自然観察会 (栗園跡地見学)

②ソバ打ち体験、③昼食会、④門松づくり

2. 参加者 59 名

3. 実施結果

① 自然観察会

栗園跡地をめざして初冬の樹木を主に観察しました。林内の野生柿の実が印象でした。

② ソバ打ち体験



ソバ打ちは丁寧な指導が受けられ、大人気でした

③ 食会



テーブル一杯の料理、勿論打ちたてのソバも。

④ 門松づくり



門松の組み立て

今回は、人気のそば打ち体験と、お正月用の門松づくりがあり、大盛況の森の学校となりました。

Ⅲ.平成 28 年 1 月 17 日（日）（晴）

1. 実施内容

- ① 自然観察会（花炭材採集をかねて）。
- ② 花炭作り体験。③ 餅つき大会。④ だんごさし
- ⑤ 食事会

2. 参加者 24 名

3. 実施結果

① 自然観察会（花炭材採集をかねて）。
早々と咲いたウグイスカグラや梅の花を観察できました。花炭材としてはマツポックリ、モミジバフウの実、今回はじめて桐の実を採取出来ました。また、だんごさし用のミズキの枝も用意出来ました。

② 花炭作り体験。

杉・松・ヒイラギの葉、マツポックリや竹の枝等思ったより良く焼き上がりました。これは、冬季は炭材の水分が少ないことと思われます。

③ 餅つき大会。⑤ 食事会

小正月の餅つきを実施しました。また豊作を願った行事でミズキの枝にだんごを（紅白の餅）さして飾りました。懐かしい体験でした。昼食は餅料理を主にいただきました。



餅つき



童心に帰ってのだんごさし



山荘に飾っただんご

自然観察班の活動報告

自然観察班では一般の方々を対象とした「竹細工教室」・「秋の自然観察会&落葉のカレンダー作り」そして「ミニ門松作り」を計画実施いたしました。

何れも大変な人気で定員をオーバーし断るのにひと苦労でした。その活動を報告します。

1.「竹細工教室」バランストンボ作り

佐藤行年

実施日時 平成 27 年 11 月 14 日（土）

9：00～12：00

実施場所 湯の岳山荘

竹細工品 バランストンボ作

受講者 定員 10 名

実施内容

今回は、トンボのバランスの難しさや不思議を知る歓びを体験してもらう目的で行いました。工具は自分のナイフ・のこぎりを使い羽根 4 枚と胴体を削りバランスを取りながら組み付けを行いました。また、トンボが止まる止まり木も一緒に作りました。

受講者の技量はナイフ、のこぎりが使えこなせる人を対象で行いました。

皆さん真剣に取り組んで頂き約 2 時間で全員完成し素晴らしいバランストンボが出来ました。

満足したうれしい顔々、楽しい教室でした。



バランストンボ作り

2.秋の自然観察会&

落ち葉のカレンダー作り 猪村 珠紀

1. 実施日時：平成 27 年 11 月 29 日（日）

9 時 30 分～12 時

2. 実施場所：湯ノ岳山荘およびその周辺

3. 参加者：16 名（大人 9 名 子供 7 名）

4. スタッフ： 9 トンボのバランスの難しさや不思議を知る歓びを体験してもらう目的で行いました。

5. 実施内容

好天に恵まれ家族単位の3グループで自然観察とカレンダーの素材探しを行いました。

イロハモミジのトンネルやドウダンツツジの色鮮やかな紅葉に驚きの声を上げ ムラサキシキブやガマズミの実が彩る森の散策をしました。



落ち葉カレンダーの素材を探しながら

途中では「ムササビ」が住んでいると云う木に空いた穴を見つけたり 海が見える展望台では、素晴らしい風景に見とれるなど 秋の日を楽しむ事が出来ました。

湯ノ岳山荘に戻って 今度は「落ち葉のカレンダー」作りにチャレンジしました。

自然観察をしながら集めた色とりどりの落葉をカレンダーに貼り付けて 個性豊かな「落ち葉のカレンダーを」作りました。

中には、落ち葉で自分の名前を模ったり 誕生日や結婚記念日などに小さな落ち葉を貼りつけて目印にしたカレンダーもありました。



出来上がった落ち葉カレンダーを手に記念写真

全員で出来上がった「自分だけのカレンダー」を手に 記念撮影をして無事終了する事が出来ました。

3.ミニ門松作り

桑原敏和

実施日時 平成27年12月26日(土)

9:30~11:40

実施場所 湯の岳山荘

参加者 定員21名

実施内容

門松の竹は真竹3本を使用し、下部は孟宗竹に藁で編んだコモを巻きました。

真竹の斜め切りには角度を決めた治具を使用し、苦勞しながらうまく切ることができました。

飾付には赤松、南天又は万両の実を使用し、綺麗に仕上げることができました。

作品を手に取りこれで新しい年を迎えることが出来ると大変喜ばれました。



門松作り



参加者全員で記念の写真。

門松を作り終えて参加者に笑顔があふれ良い年を迎えることが出来ると確信しました。年末にふさわしい活動でした。

○門松は質の良い真竹調達が作品の良し悪しを左右しますので、この竹材の調達が課題です。

ひまわり信金のみなさん

お世話になりました

松崎和敬

ひまわり信用金庫の職員の皆さんと東京等の信用金庫の仲間達一行 50 名が、ボランティア活動のひとつとして昨年に引続いて、湯ノ岳山荘周辺の森の整備に来てくれました。

今回は、11月19日8時30分から15時までの長時間にわたり刈払機や鎌などで草刈作業を行っていただきました。

今年は例年になく草の伸びが良くヤブ化が進行していたため本当に助かりました。ありがとうございました。



参加者(ひまわり・東京東・川口・城南・桐生・信金中央金庫)皆さんの集合写真



ガンガロー周辺斜面の草刈作業



草刈跡地への記念樹の植樹

いわき金成公園岩出の郷

秋の収穫祭

いわき金成公園里山づくり協議会

(会長 松崎和敬)では、いわき金成公園「岩出の郷」の秋の自然を親しみ、岩出の郷で収穫された「お米」と湯ノ岳山荘で栽培された「キノコ」を味わう収穫祭が平成 27 年 11 月 22 日(日)行なわれました。

参加者は本会より 12 名、協議会々員及び一般の方々 46 名、計 58 名の多くの方々の参加があり大盛況でした。

本会員は自然観察会やキノコ汁炊等の支援に当りました。



榎の花咲く観察歩道で自然観察会スナップ



観察を終えて岩出の郷のお米の「おにぎり」と湯ノ岳山荘で栽培された「キノコ汁」をいただく

岩出の郷は、協議会々員方々の定期的な里山整備を行っているので、観察会に参加するたび里山の変化を楽しむことができます。

今回も整備された観察歩道のあるき遅い里山の紅葉と藪椿の花を楽しみました。(伊藤)

非電化工房見学研修

栃木県那須町の非電化工房(代表 工学博士 藤村靖之氏)での見学研修会を下記日程で実施しました。

- 1.見学研修日 平成 27 年 12 月 7 日(月)
- 2.受 講 者 木田理事長他 計 8 名

自然のエネルギーを活用した生き方を求めた道具等を考案製作、自然との調和した生活を目指した工房を見学してきました。

印象の残った主な物件として、非電化カフェこれは木と分厚い土壁の家、杉皮を葺いた屋根の家、これは、素人が楽しくお大金をかけずに建てた小エネ建物だそうです。

また、太陽光エネを利用しゴミや薪で追い焚きの出来る風呂等が気に入りました。

道具ではソーラー・フード・ドライヤーとソーラークッカーは比較的日照時間の長いいわきでは有効と思われました。これらは、山荘で使用体験が出来ますので活用ください。



非電化カフェと工房全景



数々の非電化道具が考案製作された工房で
○非電化に興味のある方は、非電化工房の代表 藤村靖之先生の講演会が平成 28 年 1 月 31 日 (日) 14:00~16:00 山荘で開催されますので是非ご参加下さい。

(伊藤)

平成 27 年度

森林環境学習指導者育成研修

福島県農林水産部森林保全課による研修会が下記日程により開催されました。

○テーマ

指導林家に学ぶ生業としての森林づくり

- 1.開催日時 平成 27 年 12 月 9 日 (水)
13:00~15:00
- 2.講 師 緑川平寿 氏
- 3.場 所 講師所有林 (田人町地内)
- 4.受講者 森林ボランティアに所属する方。
・本会より、会員・4 名、 福島県
グリーンフォレスターの会・6 名、
福島県もりの案内人・2 名、計 12 名
が受講しました。

5.受講内容

講師造林地にて「生業としての森林づくり」について受講しました。その後講師宅にて質疑応答方式で進められました。

この研修を受講して、森林づくりは 50 年~100 年と長い年月が必要とします。現在は木材価格の低迷で、長い年月をかけて育てた良質な大径木は市場から敬遠されるなど、生業として森林を育てるコストに見合う適正な収入を得るには厳しいと言う。

今後、森林を守り育てることに先が思いやられる。

また、森林ボランティアとして、森林づくりは木を育て環境を守る活動のみでは森林を守り育てられないのでは、木材の需要につながるなどの活動も必要かと思われました。



講師 緑川平寿氏 所有造林地をバックに講義

(伊藤)

第 13 回

うつくしま育樹祭へ参加

緑や森林とふれあい、森林を守り育てることを知り、感じていただくことを目的に。森林の手入れや体験・交流イベントおこなう「第 13 回 うつくしま育樹祭」がいわき市フラワーセンターで下記日程にて開催されました。

開催日時 平成 27 年 11 月 7 日（土）
10：00～14：30

育樹祭には、本会所属の「福島県グリーンフォレスト」・「福島県もりの案内人」の方々が事前打合せからスタッフとして協力いたしました。また多くの会員も参加しました。

活動内容は、福島県グリーンフォレストは育樹指導者として「枝打ち・除伐」を担当しました。

福島県もりの案内人は「自然観察会・貯金箱づくり」の指導者として活動しました。



枝打ち育樹作業スナップ

○今回の育樹祭は平成 30 年（2018 年）に行なわれる第 69 回全国植樹祭の本県開催の決定を記念とし、そのイベントとして開催されました。

（伊藤）

編集後記

新年おめでとうございます。

今回で、会報 16 号を発行することが出来ました。今年はより一層の内容の充実に努めてまいりますので皆様のご支援ご協力お願いいたします。

新しい年を迎える元日には年賀状が楽しみのひとつであります。

その年賀状について一言。

私は、年賀状の題材は本会に入会してから変わりました。

発端は平成 17 年、湯本第 3 小学校学校林へ観察歩道作りの支援作業時、林内でイヌブナに出会ったのが始まりでした。

それまでは、イヌブナには二ッ箭山等で見られるものと思っておりましたので、里山で出会ったことは私には強烈な印象でした。

そこで、樹形や木肌そして葉など数多くカメラに収めました。

たまたま次年の干支が**成年**でしたので、このイヌブナの葉を年賀状に取り入れたのが始まりでした。

その後、毎年干支が入った草木や花を題材にしております。

今年は**申年**、集めた題材は山荘のサルナシ（花と果実）、新舞子のカトリガラそしてサルスベリの花（山荘と市役所前街路樹）でした。

しかし、サルスベリは漢字で百日紅ですし元日早々スベルは考えものと、今年はサルナシとカトリガラに決めました。

このようにして毎年野山で年賀状の題材探しから楽しんでおります。

（伊藤）



サルナシの花

（発行）NPO 法人いわきの森に親しむ会
（発行責任者）木田章一（編集担当者）伊藤貞夫
（事務局）〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳 2
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp

HP:http://iwaki-mori.Jimdo.com/